
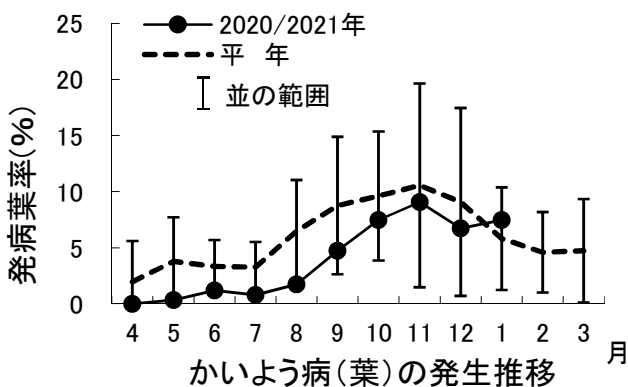


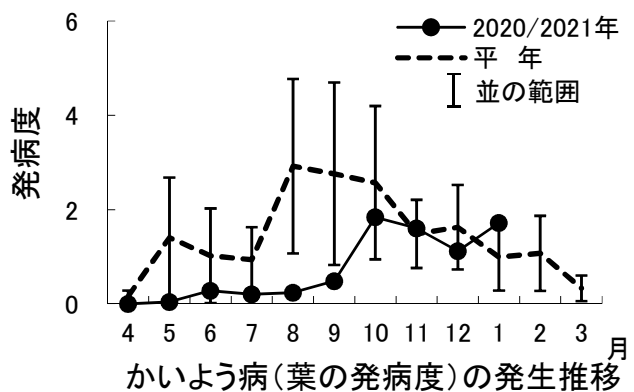
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	↘	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

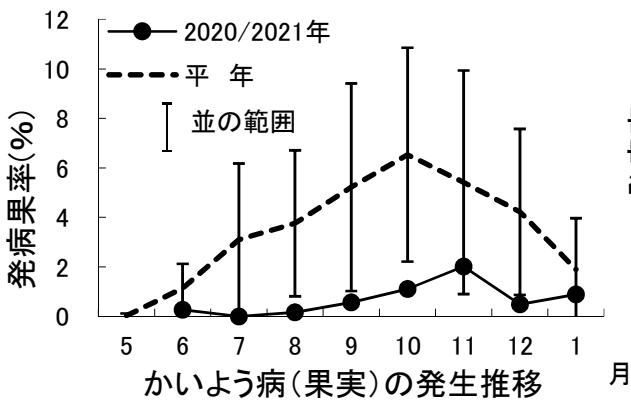
(発病葉率)



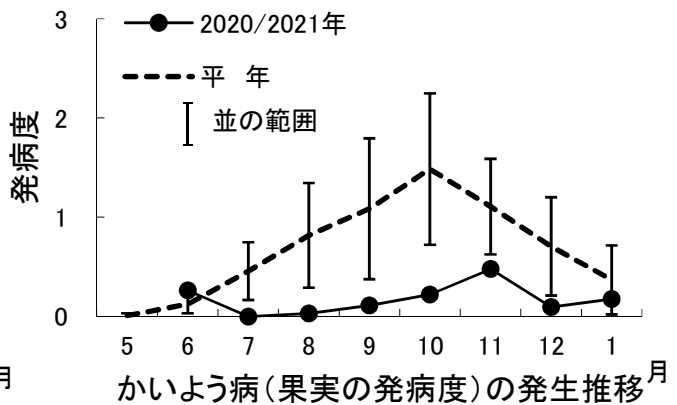
(葉の発病度)



(発病果率)



(果実の発病度)




・ 発生ほ場率：100% (平年値：78.6%)

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

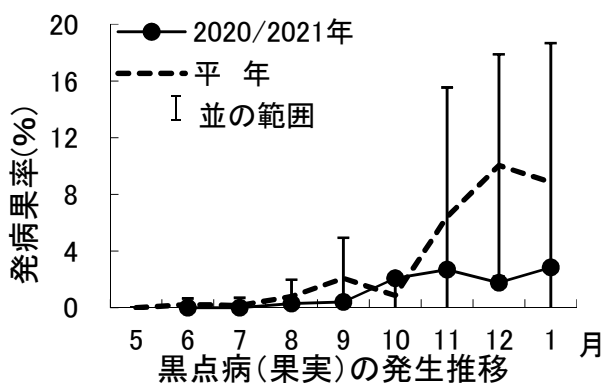


被害葉→

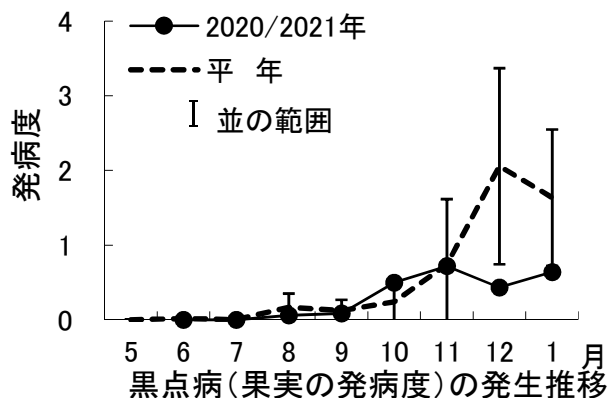
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	黒点病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	—	
	2 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

(発病果率)




(果実の発病度)



- 発生ほ場率：80% (平年値：53.3%)

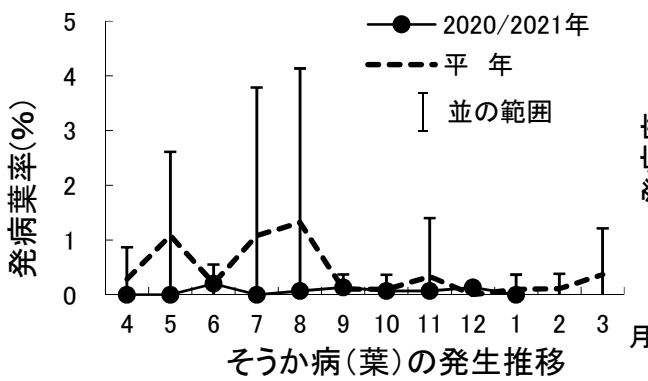
防除のポイント

- ・周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

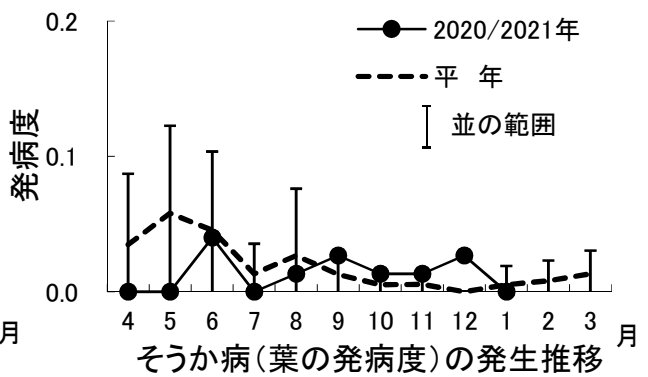
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	そうか病		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

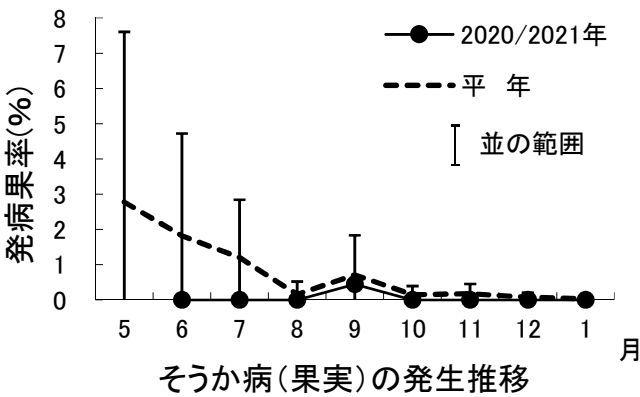
(発病葉率)



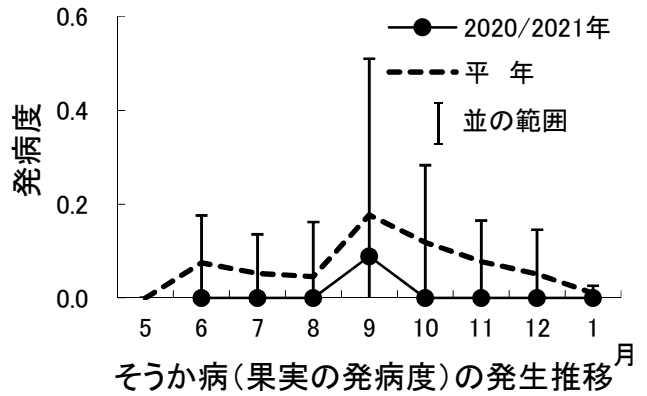
(葉の発病度)



(発病果率)



(果実の発病度)




防除のポイント

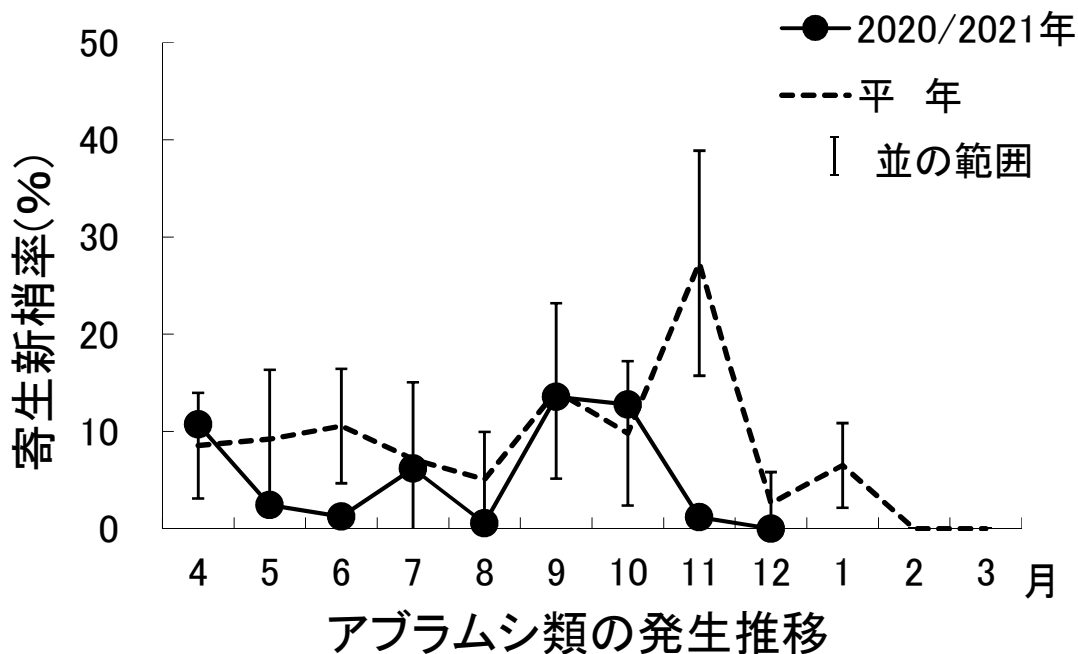
- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	1 月の発生量（平年比）	—	
予報	1 月からの増減傾向	—	
	2 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果




- ・ 新梢数が基準に満たなかったため1月の調査データなし

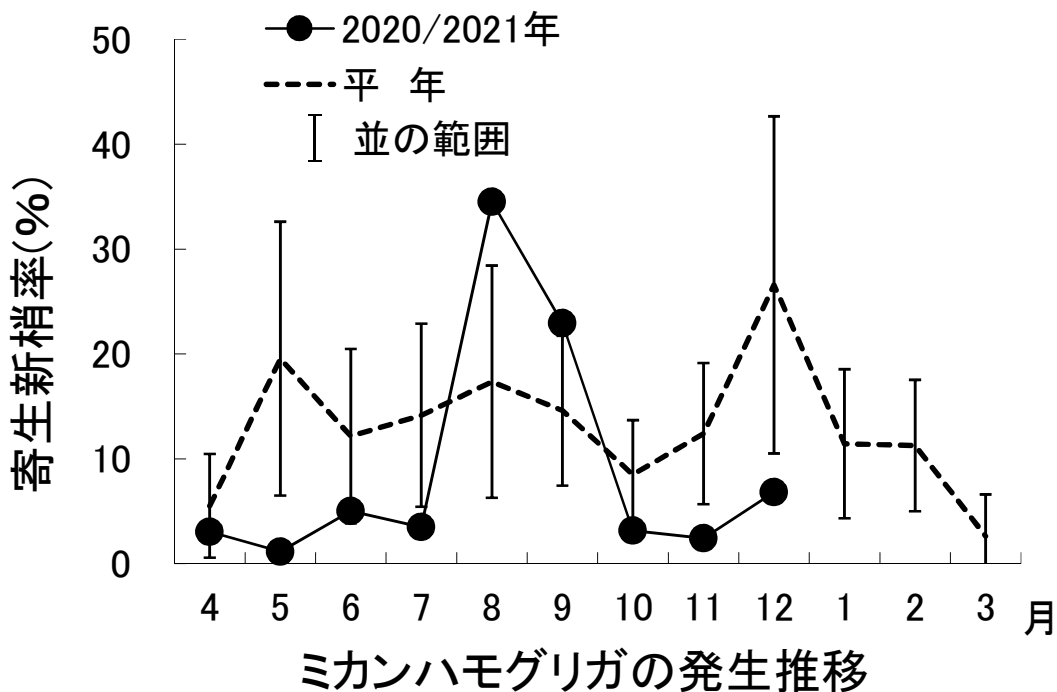
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
調査結果	1 月の発生量（平年比）	—	
予報	1 月からの増減傾向	—	
	2 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			


調査結果



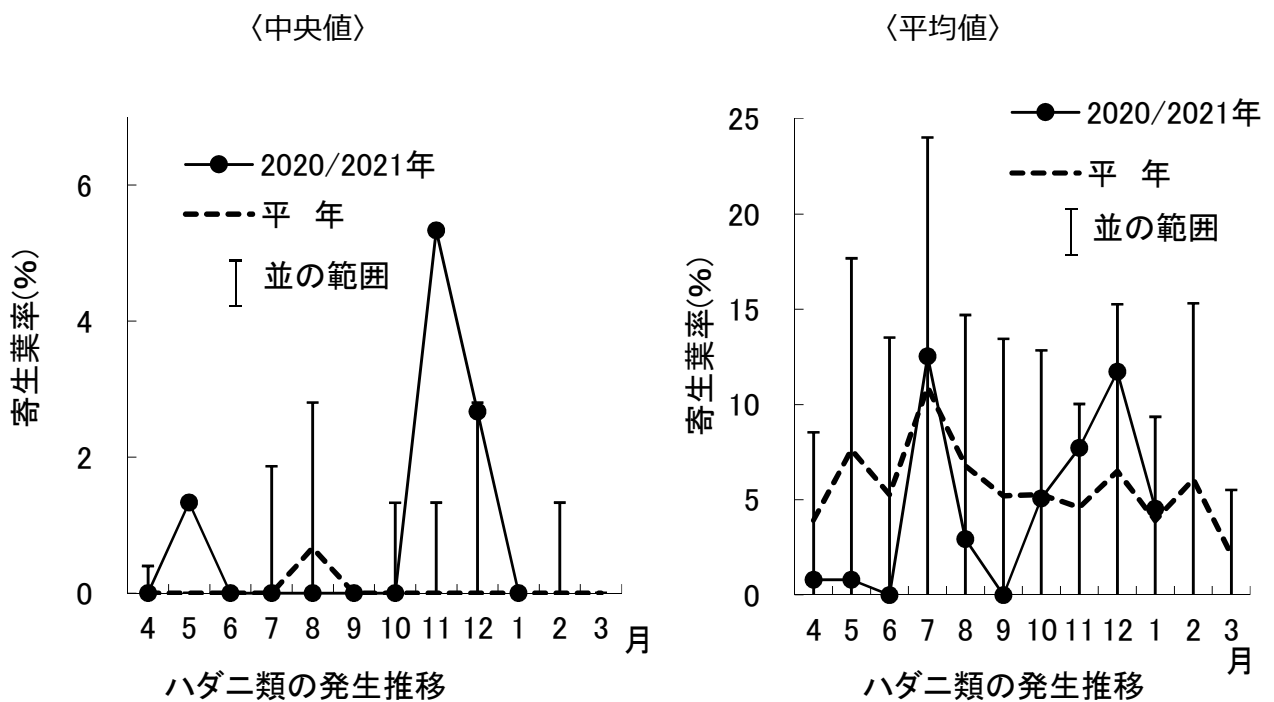
・ 新梢数が基準に満たなかったため1月の調査データなし

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		
調査結果	1 月の発生量（平年比）	並	
予報	1 月からの増減傾向	↗	
		2 月の発生量（平年比）	並
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



・ 発生ほ場率：40%（平年値：26.2%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状